

第27回日空衛全国会議

一般社団法人 東北空調衛生工事業協会
事務局 加藤 孝子

令和4年9月21日（水）北海道旭川市「アートホテル旭川」で3年ぶりに【第27回日空衛全国会議】が基本テーマを「空調衛生工事業の独自性の確立」と掲げ開催となりました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、全国から230名の参加となりました。

式次第は次の通りです。

開催次第

1. 会長挨拶 (一社) 日本空調衛生工事業協会 会長 藤澤 一郎
2. 来賓挨拶 北海道開発局 次長 波積 大樹 様
3. 基調講演
演題 「2050年～ポスト成長時代の建築・都市」
講師 北海道科学大学 工学部建築学科
教授 魚住 昌広 様
4. 事例発表
「雪国の未来を拓く利雪技術最前線！」
～見方を変えれば味方に変わる～
㈱雪屋媚山商店
代表取締役 番頭 本間 弘達 様
5. 特別講演
「伝えるのは命 繋ぐのは命」
旭山動物園 園長 坂東 元 様



開会にあたり藤澤会長は、「資機材の価格高騰や納期の遅れが発生しており、契約変更が難しい民間工事でも適正な価格と工期の契約に向け、各方面に働きかける」と述べられました。又「改正労働基準法による残業時間規制に関して、よりよい労働環境に向け、関係機関や団体と連携して取り組んでいく」と語り、更に「カーボンニュートラルの実現に向け、先導的に役割を果たしていきたい」と意欲を示されました。



その後、北海道科学大学工学部建築学科 教授 魚住昌広様による「2050年～ポスト成長時代の建築・都市」をテーマに基調講演をいただきました。2050年までにカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて我々業界にできること、そして貢献が期待されていることを述べられました。広大な土地を有する北海道における再生可能エネルギーの利用や、「2050年ゼロカーボン北海道のイメージ」についてお話をいただきました。



次に(株)雪屋媚山商店 代表取締役番頭 本間弘達様より「雪国の未来を拓く利雪技術最前線！」をテーマに事例発表をいただきました。除排雪に多額の経費を使っていたやっかいものの雪を貯蔵し、夏時にその冷熱を利用して冷房を行うシステムは、表題のとおり ～見方を変えれば味方になる～ 発想の転換で地球にやさしいエネルギーの再生でした。

さらに美唄ホワイトデータセンター事業の取り組みを紹介いただきました。



次に旭山動物園園長 坂東元様より「伝えるのは命 繋ぐのは命」のテーマで特別講演がありました。日本最北の動物園、来場者が激減しどん底の時代から動物の足し算をせず来園者の層を増やし人気動物園となったいきさつをお話いただきました。

動物それぞれが持つ特徴的な能力や行動ができる環境づくりに努力されたそうです。園長と飼育係の動物を愛してやまない思いと「命を大切に」生きていることを大切にしておられました。

次の日の記念旅行で訪れた旭山動物園では、生き生きとした愛らし動物の表情に身近に触れることができ、今度またゆっくり訪れたいと思いました。



懇親会では次回開催支部として、小林東北支部長、秋田空衛協阿部会長の歓迎挨拶が多いに盛り上がり、是非、秋田を訪れたいと思っていただけただけなのではないでしょうか。



今回東北支部からは日空衛小林東北支部長、秋田空衛協から阿部会長及び役員5名、青森空衛協から阿保副会長、当協会から佐藤会長、加藤が参加いたしました。来年は東北ブロック秋田市での開催です。多数の会員皆様の参加をお待ちしております。

